

キャリア・コンサルティング技能検定2級 学科・実技（面接）試験 体験記

平成 28 年 3 月 30 日

2 級受検番号 No. 03S3520160 氏 名 N

.....

1 試験に向けた準備

(1) いつ頃から始めたか：

第 15 回実技（面接）試験は、10 月頃から

(2) どのような内容を、どの程度行ったか

- ・ 第 15 回実技（面接）試験の受検にあたっては、「1 級キャリア・コンサルティング技能士の会」（以下「同会」という。）の「2 級技能士対策講座」に 3 回参加。なお、前回の受検時にも同会の対策講座を受講。
- ・ 論文： 2 級の第 10 回以降及び検定 1 級の直近 2 回の過去問題を繰り返し解いた。また、同会の会員同士で作成した解答案を共有し、そこから専門用語や固有表現を学ぶ。
- ・ 面接： 対策講座以外の場では、同会の会員同士で、Skype によるロールプレイを試験直前まで週 1 回のペースで実施。事前に提示されたケースについては、色々な可能性を想定し、試験日前日まで業界動向、労働条件、発達課題等出来る限りの情報を収集。

(3) 準備に対する振り返り

- ・ 論述： 時間を意識しながら、解答を手書きで作成することを繰り返した。論述も頭の中で考えるだけでなく、とにかく書き出すことが大切。また「CC 視点」に対する問いは、様々な視点を列挙できるように努めた。
- ・ 面接： 実技（面接）試験対策講座で学んだ面接の型を繰り返し練習し、体に染み込ませたことが合格に繋がったと思う。また、ロールプレイは、ただ闇雲に練習するのではなく、面接の型を理解している者同士で行った方が効果的。

2. 試験日について

(1) 試験日及び試験会場： 1 月 24 日（日）最終回 東京会場

(2) 試験希望日をこの日に設定した理由

- ・ 出来るだけ数多くロールプレイの練習をしたかったため。
- ・ 平日は仕事が入っているため。

3. 試験中に意識したこと等

- ・ コーヒーカップ理論に沿って面接を実施。
- ・ ロールプレイ中は、相談者が発する言葉だけでなく表情・態度・声の調子もキャッチするよう努めた。「今ここ」で起きていることに集中し、「相談者と私」だけの空間が築けた気がした。
- ・ 口頭試問の際には、相談者の発言内容に加え、キャッチした表情等についても触れながら、ロールプレイの中で起きていたことを試験官に回答。
- ・ これまでの試験で「具体的展開力」に関する評価が合格基準に到達していなかったことを踏まえ、口頭試問でも、自分がロールプレイ中に採った（若しくは採ろうとした）方策及びその意図が試験官に伝わるよう意識した。

4. これから受検する人へのアドバイス

学科試験・実技（面接）試験ともに、同会の「2級技能士対策講座」にお世話になりました。

学科試験に関しては、日頃から理論に接する機会がある方でしたら、同会の対策講座に参加した上で、赤本の問題を繰り返し解き、かつ時事ネタ・苦手な理論等は青本で読み解くことをしっかり行えば、合格は難しくないと思います。

また同会の実技（面接）対策講座は、木村先生を中心に同会で1級技能士を目指して勉強している方々が指導されています。したがって、ロールプレイの評価ポイントが統一されていて、評価ポイントに沿った的確なアドバイスを各々の方から頂けるので、基本の型をしっかりと学ぶことが可能です。

スポーツや習い事の世界に「形稽古」や「守破離」という言葉がありますが、私は愚直に型の練習を何度も繰り返しました。もともと面談スキルが低かったため、時間は要しましたが、私が合格できたのは、木村先生の熱血指導のもと、基本の型をしっかりと身に付け自然体で試験に臨めたお陰です。

以上